

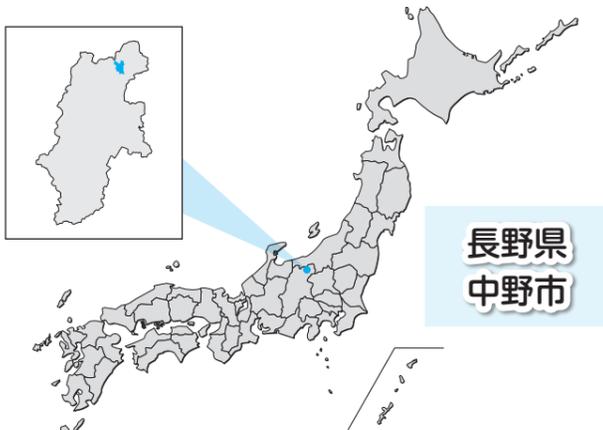


季の郷
岩井 俊哉 さん

私のふるさととは、長野県の北東にある中野市です。長野オリンピックのアルペンやスノーボード競技の会場であった志賀高原の入り口にあります。中野市の北には高社山がそびえ、志賀高原に源を発する夜間瀬川の扇状地には、モモやリンゴ、ブドウなどの果樹園や田園が広がります。四季折々に変化する遠方の北信五岳、高社山、そして田園など、そんなのどかな風景が中野市の魅力です。

中野市には、戦国時代の高梨氏の城跡や江戸時代に天領であった時の陣屋の記念館があります。当時は地方の政治・文化の中心だったそうです。その名残である祇園祭や素朴な土雛が今へと伝承されています。また、「背くらべ」など多くの童謡を作曲した中山晋平さん、最近では「となりのトトロ」をはじめ宮崎駿監督作品の音楽を手掛けた久石譲さんは、中野市が生んだ著名人です。

私は、須賀川市に移り住んで約20年になります。須賀川市ではキュウリやモモ、ナシ、おいしいお米が獲れ、季節の花に彩られた美しい風景が見られます。ふるさと中野と似ていて穏やかに暮らせる第二のふるさとです。週末になると、そんな美しい風景を探しに出掛けます。これからも須賀川市の魅力を見つけていきたいと思っています。



長野県
中野市



サイクルとわたし



須賀川市立博物館友の会

代表者 宗像 正夫
会員 45人
発足年月 平成2年6月
連絡先 ☎(75)3239(博物館内)
活動日 毎月第4木曜日
活動場所 市立博物館

須賀川市立博物館は昭和45年、県内初の公立博物館として開館しました。それから20年、博物館と共に歩む市民の集い「博物館友の会」が設立されました。

友の会では、博物館に収蔵されている古文書の整理、目録作成、解説などの研究活動や、「百人一首」「源氏物語」などの古典文学や「多代女句集」「あおかげ」など須賀川の歴史と俳人に関係のある文学作品を読み進める学習会などを行っています。ほかにも、一般の団体旅行では行けない場所や拝観できない宝物に触れ、造詣深い解説が学べると人気の高い研修旅行、各種イベントの積極的な参加や展覧会の運営協力などを行っており、豊かな人生を楽しむヒントがたくさん得られます。

年を取っても輝きたい高齢者はもちろん、知的好奇心あふれる若者の参加をお待ちしております。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加の際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteスクールなど

市民交流センター☎(73)4407

- tetteスクール 「リフレッシュヨガ」
6月26日(土) 午前10時～11時30分 ※事前申込
- tette絆イベント(ダンスパフォーマンス)
「かえりたくなる街～ともに歩む、未来へ～」
7月11日(日) 午後6時30分～8時 ※事前申込
出演：ATSUSHIさん(元Dragon Ashダンサー) ほか
- tetteスクールファミリー
「ミニ四駆講座」
7月17日(土) 午前10時～午後2時 ※事前申込
- 「ミニ四駆大会」
7月18日(日) 午前10時～午後2時 ※事前申込

tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、様々な動画をtette公式ホームページやInstagramで配信しています。ぜひご覧ください。



6月11日(金)配信予定

こどもセンターだより

こどもセンター☎(76)6687

- 子育て支援講座 「スターペアレンティング」
6月17日(木) 午前10時～11時 ※事前申込
- 親子イベント 「フォトフレームをつくろう」
6月18日(金)～20日(日)に制作セットを配布
※事前申込(先着10組)
- 子育て相談会
6月24日(木) 午前10時30分～11時30分 ※先着2組

図書館だより

中央図書館☎(75)3309

- こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)
6月12日(土)・26日(土) 午後2時
※自由参加(定員20人)
- おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)
6月16日(水) 午前11時
※自由参加(定員30人)



懐かしい商店が立ち並ぶ駅前通り

☎(75)3239

写真は、須賀川駅前から新栄町交差点(塚田)付近の通りを写したもので、奥の高い建物は公立岩瀬病院です。電柱や街灯に飾り付けたサクラや牡丹園の看板が設置されていることから、春に撮影されたものようです。写真右側の電柱には「清酒三立」の看板があります。当時、八幡町に蔵元があった三立酒造のものです。須賀川の地下水は水質が良かったため、江戸時代から酒造業が盛んで、大正時代には県内で会津地方に次ぐ酒どころでした。同時期の岩瀬管内には7つの蔵元がありましたが、三立酒造をはじめ、そのほとんどが廃業してしまいました。現在は区画整理などで風景が変わっていますが、写真には当時の懐かしい商店が並んでいます。

ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.322

—昭和の記録写真から—

駅前から街並みを望む (昭和40年代)

写真は、須賀川駅前から新栄町交差点(塚田)付近の通りを写したもので、奥の高い建物は公立岩瀬病院です。電柱や街灯に飾り付けたサクラや牡丹園の看板が設置されていることから、春に撮影されたものようです。写真右側の電柱には「清酒三立」の看板があります。当時、八幡町に蔵元があった三立酒造のものです。須賀川の地下水は水質が良かったため、江戸時代から酒造業が盛んで、大正時代には県内で会津地方に次ぐ酒どころでした。同時期の岩瀬管内には7つの蔵元がありましたが、三立酒造をはじめ、そのほとんどが廃業してしまいました。現在は区画整理などで風景が変わっていますが、写真には当時の懐かしい商店が並んでいます。

事前申込や有料のイベントもありますので、詳しくはtetteにお問い合わせください。